

令和4年1月10日

3 学期始業式あいさつ

- 皆さん、おはようございます。そして新年おめでとうございます。校長の都丸です。
- 冬季休業期間は、新型コロナウイルス感染症も年末のピークから少し収まりを見せてきていましたが、どのように過ごしたのでしょうか。
- 2学期終業式でお伝えしたように、今年は「癸（みずのと）卯（う）」で、「飛躍」「向上」を象徴し、新しいことに挑戦するのに最適な年ということですので。
- 相模田名高校も令和4年度からシチズンシップ教育の研究に先生方が挑戦しています。また、これも終業式でお伝えしましたが、キャリア教育優良校として文部科学大臣賞をいただき、これからさらに新たな相模田名高校として飛躍する年になればと思っています。
- そのためには、よく言われることですが、しっかりと自らの目標を設定することが必要となります。また、目標を設定したらそのために、何をすることが大切なのかについて考える必要があります。
- 良く知られているのは、大リーガーの大谷翔平選手と元サッカー日本代表選手の本田圭佑選手でしょうか。大谷選手は、「8球団でドラフト1位」という目標を掲げマンダラチャートという目標達成シートを作成し、本田選手は小学校から「練習ノート」を作成し、セルフモニタリングをしていたようです。
- 目標を掲げることも大切ですが、そのために何をするのかを自分自身で考え、行動することが大切だと思います。両選手ともに「考える」「思う」だけではなく、それを紙に書いて計画したことが自己実現に繋がったのではないのでしょうか。
- 皆さんも是非、まずは今年の目標を掲げ、それに向かって何をしていくのかということを考え、行動してもらいたいと思います。
- 最後に、嬉しい話をさせていただきます。
- はじめに、「かながわ部活ドリーム大賞」で弓道部の釜井怜暢（かまい れお）さんがかながわ部活キャプテン賞に決定しました。
- また、県立学校の児童・生徒表彰に、2年生の石引優美（いしびき ゆみ）さんと同じく2年生の植野彩毳（うえの いろは）さん、そして福祉委員の皆さんが表彰されることになりました。
- 釜井さんについては、弓道部の部長としてリーダーシップを発揮してチームをまとめたこと。
- そして、石引さんと植野さんにおいては、帰宅中に事故に遭った人を救護

したこと、福祉委員会は、地域連携でのパラスポーツ普及、募金活動や高齢者への携帯電話講習会等での活躍が表彰の要件となりました。

- いずれも1月28日土曜日に県総合教育センターで表彰式が行われます。
- 校内での表彰については、日を改めて行いますが、嬉しいニュースでしたので、皆さんにも紹介させていただきました。
- 表彰された皆さんおめでとうございます。そして相模田名高生として、思いやりの心を育み、それが表彰されることに本当に感謝します。ありがとう。
- 皆さんも相模田名高校のプライドを持って行動してもらえるようお願いします。
- 相模田名高校のキャッチフレーズは、「未来への挑戦～やる気・元気・勇気」です。令和5年が皆さんと共に相模田名高校が大きく飛躍するよう頑張りましょう。